



COMPANY PROFILE

2023-2024

人も地球も健康に

Yakult

Message from the President

代表取締役社長

成田 裕

世界の人々の健康で 楽しい生活づくりのために

ヤクルトの創始者、医学博士 代田 稔は人々の健康を想い、治療医学が主流だった時代に「予防医学」や「健腸長寿」という考えのもと「腸の健康」に着目し、生きて腸にとどいて有用なはたらきをする乳酸菌を見だし、乳酸菌飲料「ヤクルト」を90年近くも前に世に送り出しました。その代田の想いは、今日の私たちの事業活動にも脈々と受け継がれています。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの人々が健康は人類共通の普遍的な価値であることを再認識したことでしょう。また、健康意識の高

まりにより、健康であることには、単に病気でないということにとどまらず、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることも求められています。このような中、私たちは健康という普遍の願いに応えるため、常に新しい価値を創出し続けなければなりません。

最近では脳と腸が互いに影響を及ぼしあう「脳腸相関」という関係も明らかになり、腸内環境が脳の機能に影響し、ストレスが緩和されるなど、人の心にも影響を及ぼすことが分かってきました。人に有益な効果を与える生きた微生物であるプロバイオティクスの研究は「腸の健康」にとどまらず、全身や心までも健康にする、まさに「腸から健康へ」という新たな段階を迎えています。これからもプロバイオティクスの有用性を追究し、より多くの人々に健康をお届けすることが、私たちの使命と考えます。

ヤクルトは「私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。」という企業理念のもと、これからもたゆまぬ努力を続けてまいります。皆さま方のご理解とご支持を心からお願い申し上げます。



私たちは、生命科学の
追究を基盤として、
世界の人々の健康で楽しい
生活づくりに貢献します。

Yakult Group Global Vision 2030

ヤクルトグループとして持続的に成長し、変化に対応していくための道しるべとして、2021年6月に長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」を発表しました。2024年度までの中期経営計画では「変革への挑戦」を基本方針とし、社会環境の変化に応じた新たな価値創出へ積極的に挑戦していきます。

Yakult Group
Global Vision
2030の
詳細はこちら



目指す姿

世界の人々の健康に貢献し続ける
ヘルスケアカンパニーへの進化

定性目標

世界の一人でも
多くの人々に
健康をお届けする

一人ひとりに
合わせた
「新しい価値」を
お客さまへ提供する

人と地球の
共生社会を
実現する

By the Numbers

すこやかな毎日のために。
お客さまの期待に応え、
持続的な成長を目指します。

健腸長寿のために

1935年

乳酸菌飲料「ヤクルト」が誕生した年。90年近く愛される原点には、乳酸菌 シロタ株と創始者の精神が息づいています。



医学博士
株式会社ヤクルト本社 元代表取締役会長兼中央研究所長

しろた みのる
代田 稔

すべての事業の原点「代田イズム」。
いまでも昔も変わらない健康への想い。

感染症で多くの方が命を落としていた昭和初期。予防医学を志したヤクルトの創始者で医学博士の代田 稔が、微生物の研究から生きたまま腸内に到達し、有益な作用をする乳酸菌の強化培養に成功したのは1930年のこと。この乳酸菌 シロタ株を一人でも多くの人の健康に役立てるた

め、1935年に乳酸菌飲料「ヤクルト」が誕生しました。「予防医学」と並んでヤクルトの原点をなす「健腸長寿」、「誰もが手に入られる価格で」という3つの考えからなる“代田イズム”のもと、私たちは食品事業、化粧品事業、医薬品事業そして国際事業を展開しています。

1日 4,000 万本以上

お客さまに愛飲されている乳製品の数は、日本だけでも1日当たり約1,000万本。海外を合わせると1日当たり4,000万本以上になります。2030年までに世界で5,250万本を目指します。

世界 40 の国と地域

乳酸菌のチカラを世界へ。日本を含むアジア、オセアニア、米州、ヨーロッパの40の国と地域で、商品を販売しています。

約 24 億人

販売対象人口（「ヤクルト」をお届けできる人の数）。世界人口のおよそ1/3をカバーしています。

地域社会との共生のために

約8万人

世界で活躍するヤクルトレディの数。
商品のお届けとともに、地域の見守りに
欠かせない存在として活躍しています。
(2023年3月現在)

965か所

地域見守り活動で連携している国内の自治体・警察・消
防の数。ヤクルトの地域貢献活動は、地域や自治体を動
かし、今では全国的な取り組みに広がっています。
(2023年3月現在)

約1,157万人

2022年度に世界で実施した「出前授業」と「健康教室」の参加者
数。ヤクルトグループの従事者が小学校や公共施設などに出向き、
腸の大切さや正しい生活習慣について分かりやすく説明します。

持続可能な社会の実現と地球のための目標

環境に関する3つのマテリアリティについて、
「環境ビジョン2050」実現に向けた中期的マイルストーンとして
「環境目標2030」を設定し、推進していきます。

30% 温室効果ガス排出量
(国内スコープ1・2) **削減**

省エネ活動の推進や再生可能エネルギー導入などにより、
温室効果ガス排出量を2018年度比30%削減します。

30% プラスチック製容器
包装の使用量(国内) **削減あるいは**
再生可能にする

資源循環できる容器包装への転換などにより、プラス
チック製容器包装の使用量(国内)を2018年度比30%
削減あるいは再生可能にします。



—— 環境ビジョン2050 ——

**「人と地球の共生社会を実現する
バリューチェーン環境負荷ゼロ経営」**

2050年までに温室効果ガス排出量
ネットゼロ(スコープ1・2・3*)を目指します。

※温室効果ガス排出量を把握する範囲
温室効果ガスのスコープについて(GHGプロトコルに基づく概要)
スコープ1…自社の事業活動での燃料使用に伴う直接排出量
スコープ2…企業が外部から購入する電力・蒸気・熱に関する間接排出量
スコープ3…事業活動に関連するサプライチェーンにおける間接排出量

10% 水使用量 **削減**

持続可能な水資源の使用などにより、国内乳
製品工場における水使用量(生産量原単位)を
2018年度比10%削減します。

ヤクルトとSDGsの関わり

「人も地球も健康に」をスローガンとして、健康に役立つ商
品の開発や持続可能な社会づくりに貢献する取り組みを
行ってきたヤクルトは、企業活動そのものがCSR活動であ
るともいえます。現在、ヤクルトグループと関わりが深い
SDGs目標は8つ。今後も私たちはSDGs達成に向けた貢
献を推進していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



詳細はこちら



Business Areas

独自の研究開発・生産体制と4つの事業領域で、革新的な製品を世界へ。



食品事業



国際事業



化粧品事業

ヤクルト独自のプロバイオティクスをおいしく、手軽に。生きて腸にとどいてはたらく乳酸菌 シロタ株が摂れる「Newヤクルト」、大腸ではたらくビフィズス菌 BY株が摂れる「ミルミル」などの乳製品にとどまらず、血糖値が高めの方に適した「ヤクルト 蕃爽麗茶」、栄養ドリンク「タフマン」など、さまざまな健康ニーズに応える多彩な商品を提供しています。

世界中の人々に健康を届けるために、現地生産・現地販売を基本とする「現地主義」でヤクルトブランドのグローバル化を進め、現在39の国と地域で販売を展開しています。台湾を皮切りにアジア、オセアニア、米州、ヨーロッパへネットワークを広げ、海外における乳製品の販売本数は、2022年度で1日平均3,155万本となっており、さらなる成長を目指しています。

「からだに良い乳酸菌はお肌にも良い」という発想のもと、乳酸菌とお肌の研究を重ね、厳選した乳酸菌を活用したオリジナル保湿成分「S. E. (シロタエッセンス)※」などを配合した化粧品を開発。お客さまのすこやかなお肌をまもるため、厳しい安全基準でつくり出した化粧品をお届けしています。

※乳酸菌はつ酵エキス(ミルク)
<成分名:ホエイ(2)>



Our Values

ヤクルトはこれまで、「予防医学」「健腸長寿」「誰もが手に入れられる価格」という考えを軸に、食品・国際・化粧品・医薬品と多彩な事業を生み出してきました。さらにこれらを支える最先端の研究開発力や生産ライン、独自の地域密着型の流通形態であるヤクルトレディの存在など、時

代を超え、国を超えて愛されるヤクルトの原動力がここにあります。私たちの価値。それは、乳酸菌 シロタ株の発見から始まった私たちの歴史。「世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献する」という一つの想いのもと、ヤクルトの新たな価値創造と挑戦は続きます。



医薬品事業

食品や医薬品の原料となる酵素製剤の開発に始まり、医療用医薬品、一般用医薬品、指定医薬部外品などにも事業の分野を広げた医薬品事業。現在は、自社開発の「カンプト点滴静注」に、「エルプラット点滴静注液」を加えた2つの抗がん剤を中心に、関連する薬剤を取り揃え、医療ニーズに応える事業活動を進めています。



研究開発

創業以来、腸内細菌や有用微生物などの基盤研究に取り組み、世界でもトップレベルの研究開発力を有しています。腸内細菌の有用性と可能性をさらに広げるとともに、プロバイオティクスのパイオニアとして生命科学を追究し、人々の健康と予防医学の普及・発展のため、新素材や商品の開発に生かしています。



生産活動

皆さまの「すこやかな毎日」につながる商品を着実にお届けするために。国内乳製品工場では、ヤクルト独自の品質管理システムを設け、徹底した衛生管理・品質管理のもと製造しています。化粧品工場・医薬品工場でも厳しい品質基準に適合した体制を構築するなど、「安全・安心」なものづくりを真摯に追求しています。



Research & Development

研究開発

予防医学の、その先へ。
飽くなき探求心で新境地に挑む。



中央研究所
分析試験研究所

羽根 舞

ヒトの健康に深く関与している腸内細菌。最近では「脳腸相関」という言葉も知られ、腸内細菌が感染症やがん、糖尿病などの疾患のほか、ストレスや睡眠といったメンタルヘルスにも影響することが解明されてきています。現在、私は当社の研究開発拠点である中央研究所で、微生物解析技術の開発や腸内細菌に関する基礎・臨床研究、製品の品質・安全性の保証などを担う分析試験研究所に所属し、主にプロバイオティクスやシンバイオティクス[※]を医療に活用する研究に従事しています。具体的には、当社のシンバイオティクスは、消化器外科領域や救命救急領域、がん化学療法などの周術期の感染防御に有用であることが明らかにされてきましたが、その有用性のメカニズムを解明する研究や、シンバイオティクスの新しい機能を探る研究、特定の菌をバイオマーカーとして用いて疾病の早期発見や予後リスクの診断に役立てる研究などに取り組んでいます。ヒトの健康状態に大きな関わりを持つ腸内細菌の研究は、さまざまな疾患の解決策を見いだせる可能性があります。研究が進むことで、医療分野へのさらなる貢献が期待されています。



研究開発の中心拠点
中央研究所

多分野の研究者が集結し、腸内細菌および有用微生物に関する基礎研究から食品や化粧品、医薬品の開発まで、ヤクルトの研究開発機能の根幹を担う。

いかにプロバイオティクスの未知なる有用性を見つけ、人々の健康や医療に応用していくか。ヤクルトの研究開発機能が集約されている中央研究所には、さまざまな分野の研究者が在籍し、多角的な視点から研究を進展させていける強みがあります。また、国内のみならず海外にも目を向け、食習慣など、国によって異なるさまざまな生活環境における健康課題に対応した研究にも注力しています。私自身としては、日々の研究の中で、学会発表や大学病院との共同研究を行う機会も多く、人々の命にも関わる研究に携われることが使命感と大きなやりがいにつながっています。今後も、高度な微生物解析技術の開発と最先端の腸内細菌研究の両輪からプロバイオティクスの新たな可能性を探求し、一人でも多くの人々の健康に貢献する製品開発に役立てていきたいと考えています。

※プロバイオティクスとは、「十分量を摂取したときに宿主に有益な効果を与える生きた微生物（FAO/WHOによる定義、2002）」です。このプロバイオティクスと腸内の有用菌の増殖を助ける物質（プレバイオティクス）を組み合わせるのが、シンバイオティクスと呼ばれています。

新たな発想と変わらぬ理念で プロバイオティクスの価値を届ける使命

Foods & Beverages 食品事業

さまざまな健康課題を乳酸菌の力で解決し、人々の暮らしに貢献していく——脈々と受け継がれてきた創始者・代田 稔の信念は、ヤクルトの原点であり、今も昔も変わりません。現在、多くの方からご支持をいただいている当社初の機能性表示食品「Yakult(ヤクルト)1000」にもその精神が息づいています。

私が所属している企画調査課は、当社の特徴的な販売ルートである対面販売の「宅配」と、スーパーマーケットなどを通じた「直販」という2つの市場に商品をつなぐ窓口の役割を担います。「Yakult1000」の特長は、腸内環境の改善機能が報告されている乳酸菌シロタ株の高菌数・高密度化にあり、一時的な精神的ストレスがかかる状況での「ストレス緩和」と「睡眠の質の向上」という2つの機能をうたっていること。さらに30代から50代のビジネスパーソンという、当社と接触機会の少ない傾向の世代がターゲット。当社にとっては新たな健康価値の提供であるとともに、大きな挑戦でもありました。そこで今までとは違う「ヤクルト」であることを認知していただくため、ヤクルトレディによる機能訴求に注力。テレビCMもターゲットに合わせ、機能が伝わるものに。その結果、ストレスや睡眠といった機能訴求が社会ニーズにマッチしたこと、体感や実感をとおして口コミで広まったことから、大きな反響を得ることができ、販売実績は好調に推移しています。

人体と腸の関わりに基礎研究から取り組み、エビデンスに基づく高い開発力が当社の強みです。どの商品も地道な研究成果の“結晶”だからこそ、一人でも多くの人にお届けし、喜びの声をいただけた時が大きな達成感とやりがいを感じる瞬間です。いつの時代も変わらぬ想いを胸に、刻々と変わる社会環境や生活の変化を捉え、常に人々の健康に寄り添ってきたヤクルトの歴史。「Yakult1000」に続く新たな挑戦はもう始まっています。次はどんな健康課題に応え、どんな商品を市場に送り出すのか、皆さまのご期待に沿えるよう努めます。



食品事業本部
業務部 企画調査課

工藤 洋介



ヤクルト史上最高密度の
乳酸菌 シロタ株
「Yakult(ヤクルト)1000」
「Y1000」
1ml当たり10億個の乳酸菌 シロタ
株。大人がすっきり飲める味にもこだわった。

Network

グローバルなネットワークで
世界の人々の健康に貢献

Domestic

国内

- 本店 1
- 支店 5
- 研究所 1
- 本社工場 7
- ボトリング会社 6
- 販売会社 101
- ヤクルトレディ 32,709人
- ヤクルトビューティ 3,575人

2023年6月末現在
(ヤクルトレディ、ヤクルトビューティ数は2023年3月末現在)

本社機構

- 本店
- 北海道支店
- 東日本支店
- 首都圏支店
- 中日本支店
- 西日本支店
- 中央研究所
- 福島工場
- 茨城工場
- 湘南化粧品工場
- 富士裾野工場
- 富士裾野医薬品工場
- 兵庫三木工場
- 佐賀工場

ボトリング会社

- (株)岩手ヤクルト工場
- (株)千葉ヤクルト工場
- (株)富士小山ヤクルト工場
- (株)愛知ヤクルト工場
- (株)岡山和気ヤクルト工場
- (株)福岡ヤクルト工場

- 札幌ヤクルト販売(株)
- 北海道ヤクルト販売(株)
- 苫小牧ヤクルト販売(株)
- 岩見沢ヤクルト販売(株)
- 釧路ヤクルト販売(株)
- 帯広ヤクルト販売(株)
- 北見ヤクルト販売(株)
- 室蘭ヤクルト販売(株)
- (株)ヤクルト北海道
- 青森ヤクルト販売(株)
- 岩手ヤクルト販売(株)
- 宮古ヤクルト販売(株)
- 秋田ヤクルト販売(株)
- 大館ヤクルト販売(株)
- 横手ヤクルト販売(株)
- 山形ヤクルト販売(株)
- 米沢ヤクルト販売(株)
- 庄内ヤクルト販売(株)
- 宮城中央ヤクルト販売(株)
- ※次の販売会社を統括
- ・大船渡ヤクルト販売(株)
- 石巻ヤクルト販売(株)
- 福島ヤクルト販売(株)
- 郡山ヤクルト販売(株)
- 会津ヤクルト販売(株)



Profile 概要

本社概要

商号 株式会社ヤクルト本社
(Yakult Honsha Co., Ltd.)

創業 1935年

設立 1955年4月9日

所在地 東京都港区海岸1丁目10番30号
ヤクルト
電話 03-6625-8960(大代表)

資本金 311億1,765万円

決算期 3月末日

従業員 2,765人
※出向者286人、
嘱託160人を含む
(2023年3月末現在)

主要取引銀行 みずほ銀行、りそな銀行、三菱UFJ銀行

主な事業内容

食品、化粧品、医薬品等の
製造・販売など

ヤクルトグループは、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献するために、1964年からグローバル展開を進めてきました。国内外約160社、世界40の国と地域の事業ネットワークのもと、今後も価値ある商品・サービスを提供し続けることで持続的な成長を目指します。

Overseas

海外

● ヤクルトレディ …………… 50,192人

● 社員 …………… 25,751人

2022年12月末現在

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 台湾ヤクルト(株) | 上海ヤクルト(株) |
| 香港ヤクルト(株) | 北京ヤクルト販売(株) |
| タイヤクルト(株) | 天津ヤクルト(株) |
| 韓国ヤクルト(株) | 無錫ヤクルト(株) |
| フィリピンヤクルト(株) | ブラジルヤクルト商工(株) |
| シンガポールヤクルト(株) | メキシコヤクルト(株) |
| インドネシアヤクルト(株) | アメリカヤクルト(株) |
| オーストラリアヤクルト(株)
(ニュージーランド支店) | ヨーロッパヤクルト(株) |
| マレーシアヤクルト(株) | オランダヤクルト販売(株) |
| ベトナムヤクルト(株) | ベルギーヤクルト販売(株) |
| インドヤクルト・ダノン(株) | イギリスヤクルト販売(株)
(アイルランド支店) |
| 中東ヤクルト販売(株) | ドイツヤクルト販売(株) |
| ミャンマーヤクルト(株) | オーストリアヤクルト販売(株) |
| 中国ヤクルト(株) | イタリアヤクルト販売(株) |
| 広州ヤクルト(株) | |
- ・その他の販売国 …………… ブルネイ・オマーン・バーレーン・カタール・クウェート・ウルグアイ・カナダ・ペリイズ・フランス・ルクセンブルク・スペイン・マルタ・スイス・デンマーク
- ・非営利法人ヤクルト本社ヨーロッパ研究所

販売会社

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| いわきヤクルト販売(株) | 神奈川中央ヤクルト販売(株) | 山陰ヤクルト販売(株) |
| 水戸ヤクルト販売(株) | 神奈川東部ヤクルト販売(株) | 岡山ヤクルト販売(株) |
| 古河ヤクルト販売(株) | 湘南ヤクルト販売(株) | 津山ヤクルト販売(株) |
| 宇都宮ヤクルト販売(株) | 小田原ヤクルト販売(株) | 岡山県西部ヤクルト販売(株) |
| 両毛ヤクルト販売(株) | 厚木ヤクルト販売(株) | (株)ヤクルト山陽 |
| 群馬ヤクルト販売(株) | (株)ヤクルト東海 | 広島中央ヤクルト販売(株) |
| 東静岡ヤクルト販売(株) | ※次の4販売会社を統括 | 山口県東部ヤクルト販売(株) |
| 中央静岡ヤクルト販売(株) | ・名古屋ヤクルト販売(株) | 香川ヤクルト販売(株) |
| 西静岡ヤクルト販売(株) | ・愛知中央ヤクルト販売(株) | 徳島ヤクルト販売(株) |
| 山梨ヤクルト販売(株) | ・三重ヤクルト販売(株) | 高知ヤクルト販売(株) |
| 南信ヤクルト販売(株) | ・岐阜ヤクルト販売(株) | 松山ヤクルト販売(株) |
| 北信ヤクルト販売(株) | 東三河ヤクルト販売(株) | 愛媛東部ヤクルト販売(株) |
| 新潟中央ヤクルト販売(株) | 富山ヤクルト販売(株) | 愛媛南部ヤクルト販売(株) |
| 新発田ヤクルト販売(株) | (株)ヤクルト北陸 | 北九州ヤクルト販売(株) |
| 上越ヤクルト販売(株) | 七尾ヤクルト販売(株) | 福岡ヤクルト販売(株) |
| 埼玉ヤクルト販売(株) | 京滋ヤクルト販売(株) | 中央福岡ヤクルト販売(株) |
| 埼玉東部ヤクルト販売(株) | 近畿中央ヤクルト販売(株) | 久留米ヤクルト販売(株) |
| かぞヤクルト販売(株) | 大阪北部ヤクルト販売(株) | 大分ヤクルト販売(株) |
| 埼玉西ヤクルト販売(株) | 千成ヤクルト販売(株) | 佐賀県ヤクルト販売(株) |
| 埼玉北部ヤクルト販売(株) | 堺ヤクルト販売(株) | 長崎ヤクルト(株) |
| 千葉県ヤクルト販売(株) | 大阪東部ヤクルト販売(株) | 佐世保ヤクルト(株) |
| 城北ヤクルト販売(株) | 南大阪ヤクルト販売(株) | 五島ヤクルト販売(株) |
| 葛飾ヤクルト販売(株) | 奈良ヤクルト販売(株) | 熊本ヤクルト(株) |
| 西都ヤクルト販売(株) | 和歌山ヤクルト販売(株) | 宮崎ヤクルト販売(株) |
| 東京ヤクルト販売(株) | 神戸ヤクルト販売(株) | 都城ヤクルト販売(株) |
| | 兵庫ヤクルト販売(株) | 川内ヤクルト販売(株) |
| | 姫路ヤクルト販売(株) | 鹿児島ヤクルト販売(株) |
| | 淡路ヤクルト販売(株) | 鹿児島東部ヤクルト販売(株) |
| | 鳥取ヤクルト販売(株) | 沖縄ヤクルト(株) |

主要関連会社

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ヤクルト食品工業(株) | (株)ワイ・ビー・シー |
| ヤクルトヘルスフーズ(株) | ヤクルトサポートビジネス(株) |
| ヤクルト商事(株) | ヤクルトロジスティクス(株) |
| (株)ヤクルトマテリアル | (株)ヤクルト球団 |
| ヤクルト薬品工業(株) | (株)ヤクルト・マネジメント・サービス |
| (株)ヤクルトアセットマネジメント | |

Information

ヤクルトお客さま相談センターでは、
お客さまから商品に関する
ご質問・ご意見を承っています。

フリーダイヤル(通話料無料)

 ^{イイ ヤクルト} 0120-11-8960

携帯電話からは、ナビダイヤル(通話料有料)

 0570-00-8960 へ

受付時間 10:00~16:00

(土・日・祝日・夏季休業・年末年始等を除く)

メールでのお問い合わせはこちらから

<https://www.yakult.co.jp/info/products/>



株式会社ヤクルト本社

<https://www.yakult.co.jp>

